

やまがた

元氣

農の風

NO.41

山形県鶴岡市

えべ

たかし

江辺 高志 さん

人との触れ合いを求めて独立就農
～ I ターンからの新規就農一年生！～

鶴岡市



就農のきっかけ・思いをお聞かせください。



東京都出身で49歳。IT関係の企業に勤務していましたが、農繁期に親戚の米農家の手伝いを経験したことなどから農業に関心を持ち始め、引退後は農業をやりたいと考えていました。

コロナ禍のテレワークで人との触れ合いが絶たれたこと、業績重視の仕事にストレスを感じていたことから、新規就農を視野に全国就農イベントフェアに参加。その中で、鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」の支援が充実しており、就農するには最適な環境だと考え入校を決断。勤務先を退職し鶴岡市に移住しました。

2年間の研修を終え、本年4月に独立就農。SEADSスタッフや先輩農家の助言をいただきながらメロン6aとミニトマト9a、すだち14aを栽培し、手応えを感じています。



ミニトマト収穫の様子

鶴岡市立農業経営者育成学校
「SEADS」3期生
江辺 高志さん農業の魅力について
お聞かせください。

研修でお世話になった方々や、農業を通じた地域の方との交流により人との繋がりの温かさを実感できること、体を動かし良い汗を流せること、食料難になっても自分で自給自足ができることが魅力です。

食と農は直結しており、収穫したメロンやミニトマトを「美味しい」と言ってもらえるのが最高の喜びでやりがいを感じ、自信にも繋がっています。

一粒一粒手に取って
ミニトマトを選別しています美味しいミニトマトをお届けします！
お世話になったSEADSの
百瀬校長先生（右）との一枚今後の経営・目標・将来
展望をお聞かせください。

今はメロンとミニトマトを大事に育て、経営を軌道に乗せることが最大の課題であり目標です。

すだちが本格収穫できるまであと3年。将来は食の都庄内の「北限のすだち」として庄内地域をPRしていくとともに、研修で経験したように、今度は自身が実習の受入先となってお世話になった地域に貢献していきたいです。



愛車の軽トラック

3年後の収穫が待ち遠しい
北限のすだち

東北農政局 山形県拠点 地方参事官室

TEL:023-622-7231

